

授業科目名	地域イノベーション論	担当教員	荒木 利雄
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3年 第1クォーター		
講義内容	<p>地域経済や地域社会が疲弊するなか、その活性化に向けた取り組みが求められています。本授業では、地域課題をどのように解決していくべきなのかについて、事例研究を通じて理論的フレームワークを学びます。事例では、民間企業・地方自治体など多様な組織による取り組みを通じて、イノベーションによってどのように地域課題が解決されているのか、そのプロセスと課題を学びます。ゲストスピーカーの招聘を予定しています。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域イノベーションに関連する理論やフレームワークについて、自分の言葉で説明することができる。 2. 地域イノベーションを起こすために必要な構成要素について、説明することができる。 3. 地域課題について自分事として捉え、その解決策について思考し戦略を立案することができる。 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：地域イノベーション・システムとソーシャル・イノベーションについて理解を深めます。 2. 地域イノベーション・エコシステム(地域共創を推進するエコシステムの構築)：徳島県神山町、徳島県上勝町（ゼロウエスト）などの事例を用いて学びます。 3. 地域経済活性化に資する地域中小企業の役割と機能について理解を深めます。 4. 六次産業化の地域イノベーションとデザイン思考：高知県安芸郡馬路村（ゆずの村・ゆずの森）、徳島県上勝町（葉っぱビジネス）などの事例を用いて学びます。また、デザイン思考の基礎について学びます。 5. デザイン思考について、外部招聘講師（ゲストスピーカー）による講義とグループを行います。 6. デザイン思考（共感、問題定義、アイデア創出）：アイデア創出のために共感マップ、ペルソナ設定などについて学び、グループワークを行います。 7. 地域イノベーションとデザイン思考（試作（アイデアの具体化））：産業集積、商店街、地方百貨店の再生について考えます。またデザイン思考についてのグループワークを実施します。 8. 豊岡市の地域イノベーション事例とデザイン思考（テスト（評価））：豊岡市、あるいは但馬地域におけるイノベーション事例を一つ挙げ、デザイン思考にあるテスト（評価）を行い、改善案を考えるグループワークを行います。 		

	<p>9. 社会課題解決のためのソーシャルビジネス事例：ソーシャルビジネスの基礎について学び、関連するグループワークを行います。</p> <p>10. 社会課題解決のためにコレクティブインパクトとビジネス環境の変化に対応するダイナミック・ケイパビリティ（起業変革力）：コレクティブインパクトの5つの特徴について学びます。また、地域社会課題に関するグループワークを行います。</p> <p>11. 地域課題解決のためのイノベーション：地域社会課題に関するグループワークを行います。</p> <p>12. 各グループのプレゼンテーションと授業全体の振り返りを行います。</p>
事前・事後学習	<p>事前学習として、予め担当教員が作成した資料を確認し、受講者の疑問点や質問事項を整理してください。</p> <p>事後学習として、授業を振り返り、フィードバックシート（リフレクションペーパー）を提出してください。</p>
テキスト	担当教員が作成した資料を使用します。その資料をダウンロードし、授業に出席してください。
参考文献	<p>佐竹隆幸編著『現代中小企業のソーシャルイノベーション』同友館，2017年。</p> <p>油井 毅『0から1を生み出すデザイン思考の教科書』泉文堂，2022年。</p>
成績評価の基準	授業への参画度（グループワーク及びグループディスカッション）（20%）、フィードバックシート（リフレクションペーパー）（30%）、期末レポート（50%）により評価します。
履修上の注意 履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークやグループディスカッションを行いますので、主体的かつ積極的に参画してください。 ・フィードバックシートでは、授業内容、グループディスカッション、及びグループワークなどで学んだ内容について振り返ってください。
実践的教育	該当しません。
備考欄	<p>外部招聘講師とのスケジュール調整により、一部授業内容が変更になる可能性があります。</p> <p>グループワークに時間を要する場合には、これを優先して授業を進めます。</p>